

# Cisco LAN スイッチ

## Catalyst 2950 ブロードバンド・マルチキャスト・スイッチ

### 大容量コンテンツ時代を見据えた マルチキャスト・スイッチの次世代標準



Catalyst 2950シリーズは、10/100/1000BaseT アップリンク、IOSサービス、QoS(Quality of Service)、マルチキャスト機能、高い可用性、およびセキュリティ機能など、イーサネット・ソリューションとして最高のパフォーマンスと機能を実現。ブロードバンド時代において一般的なマルチキャスト系アプリケーションを利用する際も、ストレスを感じることなく運用できるよう、ハイレベルのパフォーマンス、信頼性、拡張性を同時に実現する次世代コンセプトを提供します。

Catalyst 2950シリーズでは、10/100ポートのみのモデル、固定10/100/1000BaseTアップリンク・ポート、あるいは固定100BaseFXアップリンク・ポートを装備したモデルを含め4つのモデルからお客様のニーズに合わせて選択していただけます。いずれも、1ラックユニット(RU)の高さなので、デスクトップやワイヤリング・クローゼットへの配備も柔軟に対応できます。更に、8.8Gbpsのスイッチング・ファブリックおよび最高転送帯域幅4.4Gbpsを実現。全ポートにおいてワイヤスピードの性能を提供します。Catalyst2950シリーズは、Fast EtherChannelやGigabit EtherChannel技術によるパフォーマンス強化を実現、Catalystスイッチ、ルータ、サーバ間で最高4Gbpsの高いパフォーマンスの帯域幅を提供します。

#### IGMP スヌーピングによる マルチキャストサービスへの対応

Catalyst2950スイッチは、IGMPスヌーピング機能によりネットワーク上のマルチキャスト系アプリケーションを運用・管理

する上で優れたパフォーマンスと使いやすさを提供します。ハードウェアによるIGMP スヌーピングは、今までより先はるかに優れたパフォーマンスを実現。ますます増大が予測されるストリーミングなどのマルチキャスト系アプリケーションにストレスなく対応できる機能を提供します。

#### 高度なQoS

Catalyst 2950シリーズは、このクラスの製品においては比類ない高度なLAN エッジのQoS を提供します。すべてのCatalyst 2950スイッチにおいて、IEEE 802.1p標準をベースとしたCoS( サービスクラス )値に基づく分類が実行され、遅延に敏感な音声などのアプリケーションはスイッチ・ファブリックを通して常に迅速に処理されるようになります。更に、設定された優先度を維持しながら帯域を提供し、優先度の低いキューにも公平にアクセス権を与えることができるWRR( Weighted Round Robin )スケジューリングを使うと、ERP( Oracle、SAPなど )、音声( IPテレフォニー・トラフィック )、およびCAD/CAMといったミッションクリティカルなトラフィックを、FTPや電子メール( SMTP )などの時間がそれほど重要ではないアプリケーションより優先させることができます。

#### LANをギガビット速度に移行

Catalyst 2950T-24は、デスクトップ接続用の24の10/100ポートに加え、2つの固定10/100/1000BaseTアップリンク・ポートを装備しています。企業内LANを既に構築されている環境であれば、ポートあたりわずかな追加コストで、LANをよりハイパフォーマンスなギガビット・イーサネットにアップグレードすることができます。

#### Cisco CMS(Cluster Management Suite)

シスコの主なスイッチ製品に組み込まれているWebベースの管理ツール、Cisco CMSでは、最大16台までの相互接続されたCatalyst2950、3550-12T、3500XL、2900XL、1900スイッチを地理的な距離に関係なく単一のIPアドレスで一度に管理することが可能。すべてのCisco IOS機能とファームウェアの管理を統合型のGUI管理インタフェースで行えるため、LANを容易に監視・管理できます。

## 技術仕様

### パフォーマンス

- ・ DRAM:16MB
- ・ フラッシュメモリ:8MB
- ・ MACアドレス数:8,000
- ・ 8MBのパケットバッファメモリアーキテクチャを全ポートで共有管理
- ・ SNMP MIB( Management Information Base )I、SNMP MIB 拡張、Bridging MIB( RFC 1493 )

### 適合標準規格

- ・ IEEE 802.1xをサポート( 将来のソフトウェアでサポート予定 )
- ・ 10BaseT、100BaseTX、および1000BaseT ポート上のIEEE 802.3x全二重
- ・ IEEE 802.1D スパニングツリープロトコル
- ・ IEEE 802.1p CoS
- ・ IEEE 802.1Q VLAN
- ・ IEEE 802.3ab 1000BaseT 仕様
- ・ IEEE 802.3u 100BaseTX 仕様
- ・ IEEE 802.3 10BaseT 仕様

### インジケータ

- ・ ポートごとのステータスLED:リンク完全性、使用不可、アクティビティ、速度、全二重の表示
- ・ システムのステータスLED:システム、RPS、帯域幅の使用状況の表示

### 寸法と重量

- ・ 寸法( H×W×D ):4.36×44.45×24.18cm( 1.72×17.5×9.52インチ )
- ・ 高さ1ラックユニット( RU )( 1.72インチ /4.36cm )
- ・ 重量:3.0kg( 6.5ポンド )

### 使用環境

- ・ 動作温度:- 5 ~ 45 ( 23 ~ 113 F )
- ・ 保管時温度:- 25 ~ 70 ( -13 ~ 158 F )
- ・ 動作時の相対湿度:10 ~ 95%( 結露しないこと )

## 電源仕様

- ・ 消費電力:30W( 最大 )102BTU/時
- ・ AC入力電圧/周波数:100 ~ 120/200 ~ 240VAC 自動認識 50 ~ 60Hz
- ・ DC入力電圧:+12V@4.5A
- ・ ファイバポート仕様( Catalyst 2950C-24 )
- ・ 光送信波長:1300nm( ナノメートル )
- ・ 光受信感度:- 14dBm( デシベルミリワット )
- ・ 光送信電力:- 19dBm ~ - 14dBm
- ・ 送信:- 19dBm ~ - 14dBm

### 適合基準

#### < 安全規格 >

- ・ UL/CSA G0950 Third Edition、CSA 22.2 No.950、EN60950、IEC950、AS/NZS3260およびTS001、CE Marking

#### < 電磁波認定 >

- ・ FCC Part 15 Class A、EN55022 Class A( CISPR22 Class A )、VCCI Class A、AS/NZS3548 Class A、CE Marking、CLEI Code、BSMI Class A

#### < 保証 >

- ・ Lifetime limited warranty

### 基本構成

WS-C2950-12	: 10/100ポート×12
WS-C2950-24	: 10/100ポート×24
WS-C2950C-24	: 10/100ポート×24、100 BaseFXポート×2
WS-C2950T-24	: 10/100ポート×24、10/100/1000 BaseTポート×2

©2001 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Catalyst、IOS、Cisco IOS、Cisco、Cisco Systems、およびCisco ロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。

この資料の記載内容は2001年8月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



## シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せURL :<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL: 03-6670-2992

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

## お問い合わせ先